

2017年本部事業等活動報告

■■ 1月 ■■

2017-1-7 15:00～ 理事役員研修会および懇親会

今年度の班単位での理事勉強会に備え、フィガーなどを再確認。懇親会は東京・五反田『東海酒家』にて。

2017-1-8 10:00～17:00 平成29年JDSF公認指導員研修会 講師：助川友朗先生
(JDSF東北ブロック・ダンススポーツコンgres in 岩手) 会場：滝沢ふるさと交流館

「日本のダンス、世界のダンス」をテーマに机上講習後、午後は「ワールドスタイルダンス実技入門」を実施。翌9日も希望者を対象に教え方を含めたワールドスタイルダンスの講習。

(お話の要旨)「ダンス」に対するイメージの変遷→マイナーに陥ったカップルダンス。相次ぐダンス教室の閉店→後継者不足、来店客の高齢化。老人ホーム化した公民館。現代において排除される「高齢者」と「喫煙者」。世界では稀有、日本だけが高齢者用のダンスになってしまった現状。そこを何とかしようとしているのがJDSFとAJ。高齢者施設の現況説明→マーケットは宝の山。「ハイヒールが履ける」と喜ぶ老婦人、認知症でありながらダンスは踊れる老人。しかし、今の一般的なやり方では施設に断られる。座ったままの人にどうやってダンスをした気分させるか、足の悪い人にどうやって提示するか。高齢者施設でダンスを教えるようになり、80歳を超えて初めてダンスをするという人は大勢いる。世界のダンス教室の現状説明→若い人がやらないということはない。日本とはどこが違う？→楽しくないレッスン。日本人は苦しんでレッスンするのが好きな国民なのか？→この考えは止めた方がいい。ガラパゴス化したダンスを「This is Dance」と思っではいけない。個人レッスンで競技ダンスをする間違い。ダンスを4分類→「社交」「競技」「スポーツ」「デモ」。一般からみて普通だと思ふ世界にしないと人は入ってこない。ダンスを通じて社会との接点をもつ→異常なことを正常に戻す。

2017-1-22 11:00～ 第24回本部総会・会員懇親会 14:00～ お洒落な新春パーティ

通常総会后、参加者全員が近況を報告。昨年の活動を通じての感想やダンスとの関わり方など、各人が発表。皆の話を聞き、助川理事長から次のようなお話がありました。

AJは当初から言っていることだが、各人・各教室の営業上の教え方について言及しているわけではない。いわゆる「社交ダンス」の教え方としてワールドスタイルを推奨しており、実際に成果を上げているのは世界的に見ても明らかである。

私はかねて社交ダンスを一括りにせず、競技ダンス、スポーツダンス、デモンストレーションダンス、社交ダンスに分類している。当然お客のニーズも異なるわけで、お客の求めに応じて対応すべきだと考える。

「お客が増えない」「サークルに新しい人が来ない」「既存の客は高齢化する一途で、若い人は入ってこない」などの背景には、教え方が大いに関わっている。

かつて自分が習ったやり方を踏襲するに留まっていなかったか、分かりやすい教え方ではないのではないか、サークルの雰囲気一般の人が敬遠するような異質な感じになっていないか——。考え方を柔軟にし、受け入れる側が時代や客層に合わせて変化をしていかなければ新しい人は入ってこない。

続く新春パーティは、本間一明 & エスメラルダの生演奏をバックに飲み放題・食べ放題、午後のひとときを楽しみました。

■■ 2月 ■■

2017-2-5 13:00～ 義務講習会

(冒頭、助川先生のお話)「ダンス」という看板を見ると、昔は社交ダンスを連想したものが、今や社交ダンスはマイナーになり、一般の人に「ダンスと言えば？」と質問すると子供ダンスやヒップホップなどを連想する人の方が多くなった。

ダンスは4種に分類できる。「相手のために踊る社交ダンス」「審査員に向けて踊る競技ダンス」「お客と踊り、お客が招いた人に対して見せるデモンストレーションダンス」「スポーツとして自分が思う通りに踊るスポーツダンス」。

社交ダンスを教えるにあたり、まず生徒を自立させる必要がある。そのためには、相手に合わせた低いホールドで教えなければならない。

同日は、A班B班に分かれ、各種目約5分間のデモ講習を実施。種目は次の通り。Blues, Foxtrot, 5 step Tango, Argentine Tango, 8 step Tango, Paso Doble, Boogie-Woogie, Samba, Salsa, Mambo, Square Rumba。最後に助川教室の蛭田・山本カップルによるスペシャルデモンストレーションが行われ、スタンダード5種目が踊られました。

2017-2-19 10:00～ 一般講習会

ブルースを例に男女の役割を解説。「男性はリードしなければ、との思いからかえって女性に迷惑をかけることがある。しかし、リードされる側の女性の動きを体験することでリードしすぎを防ぐことができる。男女とも動きとしては、後退する時は女性に、前進する時は男性になるとよい。女性もフォローとは何もしないことではなく、自然と何かをしたいとメッセージをするように。リードすることとされることは同義語であることを理解しよう」

Waltz → Natural turn, Reverse turn, Closed change この3つの組み合わせのみで踊る。またBoxを90°できっちりと踊る。

Latin Basic → Rumba walk, Side movement

Boogie → 片手ですべてのリードをやってみる。

Salsa → ベーシックは足が「車庫」に入った状態に戻る。

Tango → Progressive Link 時のポジションに注意。

■■ 3月 ■■

2017-3-5 13:00～ GM 勉強会・理事勉強会

A 班と B 班の各担当者による種目別デモンストレーション(ミニ講習)20 種目を実施。

2017-3-19 10:00～ 一般講習会

[Waltz] Natural turn →直線運動の概念を確認 90° × 4=BOX

Spin turn →2 と 3 の間に 135° 回転 Outside change 90°

1 Waltz from 『La La Land』 Natural turn Ladies' solo turn(右回転) Reverse turn
Ladies' solo turn(左回転)

2 男性が Solo turn する Waltz (Left side & Right side Check 女子は Chasse Roll)

[Boogie] 女性の「肩をロック」しながら回転。Waltz の Natural turn や Reverse turn を入れる。

[Rumba] B lezel から「肩ロック」の回転へ。

[Tango] Promenade turn と Twist turn

[ChaChaCha] 様々な 3Chachacha

2017-3-20 大阪義務講習および JDSF との合同勉強会 10:00～ 会場:大阪・西成区

講師:助川友朗先生

テーマ:「プロが教えたがらない、教えるための8つのポイント」

「ダンス人口の減少を防ぐべく、新しい人を受け入れる」との掛け声のもと人口減少を食い止めようと努力しているようだが、本当に受け入れているならダンス人口の平均年齢は上がらないはずだ。日本のダンス界は世界の中でもいち早く高齢化している。ヨーロッパは若い人も社交ダンスをやっている。日本の問題はそこにある。今の若者は、世界中、同じ音楽、ファッション、飲み物、食べ物と国による違いは昔ほどない。ここに要因もしくはヒントが隠されているのではないか。

ワールドスタイルは前提として、世界の誰とでもどこでも踊るダンスのことをいう。しかし、日本で社交ダンスというと、それとはかけ離れている。例えば、日本のダンス教室でかかる音楽は外国ではかからない。今流行っている音楽を取り入れている。またパーティでも様々な種目の曲がかかり、多くの種目を踊る。ワルツもタンゴも特別に多くかかるわけではなく、多くの種目の中のひとつでしかない。

生徒の要望として、社交ダンスが踊れるようになりたい、きれいに踊れるようになりたい、上手になりたいなどがある。教える側は、うまくする、踊れるようにしてあげようという意識はある。しかし、教えるという場面は想定していない。

社交ダンスは相手に好かれるかどうかの問題だ。きれいに見せるためではない。しかし、ダンスの世界ではそこを平気で指導してしまう。ダンスをして、いわゆる固い人は嫌われる。

姿勢やフットワークは教えなくてもいい。実際ヨーロッパでは教えていないので、固くなる人はいないとあっていい。つまり、選手でもない限りそこは教えないということだ。

「ワールドスタイルダンス」は「教えない」がモットーで、「学ばせる」ことに重点を置いている。自主的に習得し、体感させる。生徒にはその機会を与え、訓練して学ばせるしかない。

例えば、リードは教えられない。実際、自分で自分のリードはどうなのかわからない。わからないことは人に教えられない。女子を回転させたければ、「回ってほしいと祈る」と私は伝えている。回すのではなく祈る。開いてほしい時は開いて、と祈る。これらは体感するしかなく、「体感教授法」という。指導者が結果を先に言わず、生徒に結果を得させるのだ。そうすれば、気づいたらできるようになったということにつながる。

さて、競技ダンスと社交ダンスの違いを明確にしておこう。ダンスは4つに分類できる。「競技ダンス」「スポーツダンス」「デモンストレーションダンス」「社交ダンス」。競技ダンスは審査員が存在し、審査員のために踊り、比較対照するもの。スポーツダンスは、自身のためのもので、自分はこんなにもできるのだとスポーツの要素が大きい。デモンストレーションダンスは、見に来てくれる友人・知人に対する踊り。社交ダンスは相手のために踊る。相手のための踊れる生徒を育てることこそ、ダンス人口減少を阻止する方策だと確信する。

* 以下、実施種目 *

- 1 Boogie 肩掛け。左右のロールイン(Rumba、ChaChaCha でも)
- 2 Bachata 重要なのは4つ目にタップすること
- 3 Disco Blues
- 4 Viennese Waltz 「歩いて、歩いて Chasse」
- 5 いろいろな3 ChaChacha NY～ Hand to Hand～ 巻き付き Step のまま前後に
- 6 Waltz いろいろな Ladies' solo turn (from La La Land)
- 7 Tango

2017-3-29 13:00～ 仙台義務講習会 会場:仙台市民会館

日本の社交ダンスは伝統芸能に陥ったといえる。世界の中で日本だけがガラパゴス化した。かつて日本の社交ダンスもいい点があった。日本のダンス界はお金をもっていることから、外国人選手が来日して稼げる市場で、8月と12月はパーティ花盛りで、ブラックプールで6位内の選手がこぞって来日していた。日本は相場の3～4倍のギャラを払ってくれるありがたいマーケットだったというわけ。一方でダンスを伝えるという部分で日本独自の社交ダンスを追求したため、新しい人が入ってこない、もしくは排除するようになった。平成10年くらいから顕著にダンス人口が減少している。

風営法がある時代に許可を取得した3,500軒あまりの教室が2,000軒ほどになり、廃業が全国で相次ぎ、窓口が減り、さらにダンス人口減少に拍車がかかっている。

日本では65歳以上を高齢者といっている。4人にひとり、25%が65歳以上の高齢者だ。青春時代にダンパなどで少しでもダンスを経験し、楽しんだ思い出のある人は年をとっても再

びダンスをする機運はある。しかし、いまの若年層はダンスをして楽しむという機会がないため、ダンスに対する良い思い出が創出できない。

私は現在ひと月に8日、4カ所の高齢者住宅にレッスンに行っている。うち3カ所が特養だ。有料老人ホームのひとつは、水曜日午前10時半から12時半まで、13人の客を基本的にひとりで相手をする。その施設は約130人の住民がいるので10人にひとりがダンスをするという、高比率になっている。住民の入れ替えはあるものの、平均年齢85歳。80歳になって初めてダンスをするという人が大勢いる。80歳から始めて85歳までやった場合、これだけの人数をレッスンの2時間のうち、ひとりあたりに換算すると約10分しか踊らないことになる。つまり、1週間のうちワルツ、タンゴ、ブルース、ルンバをそれぞれ1曲踊るだけで終わり。しかし、それだけにもかかわらず3~4年するとかなり踊れるようになる。

私の提案として、80歳になったら再度ダンスを始めようというキャンペーンをしてはどうかと考えている。80の手習いを行政を巻き込んで、向こう10年間の方向性をつけてあげたい。

80歳からダンスを始める人へのすすめ方、やり方、方向性を身に着け、身近な人にダンスを勧めてもらう。そこを活路にしたらどうか。年配者は「我々は年だから」という人が少なくないが、60代、70代の初心者、80代の初心者に合わせたレッスンメニューを提示すれば楽しみながら、10年、20年と続けることができる。

自分を振り返ると、自身の教室でもどのスタッフと比べても最も初心者を教える機会が多い。そんな自分でも初心者が難しいと感じるところを忘れがちになってしまう。自分でさえ、50年のダンス歴の人と80歳で始めた人の難しさを失念してしまいそうになるのだから、いくら肝に銘じたとしてもまだ足りないくらいだと自戒している。面倒なことではあるが、一歩ずつ音楽にのって歩かせることの重要性を認識してもらいたい。

JDSFもダンス人口減少に危機感をもち、本格的に社交ダンスの普及に取り組むことになった。社交ダンスの愛好家を会員にしなければ、ダンス人口増加につながらないとして拡大委員会を設置。委員長以下各県で委員を任命し、全国規模で展開を始めた。競技ダンスが主流なため、まだ反対勢力は9割とも聞かすが、年齢に関係なく、社交ダンスをやってよかったと思える生徒を育てることが肝要だ。

■■ 4月 ■■

2017-4-2 12:00~17:00 メダルテスト&ワールドスタイルダンスパーティー

パーティーには本間一明&エスメラルダが出演、ダンスタイムを盛り上げました。

2017-4-10~13 INTAKO2017(第50回国際ダンス教師会議)

会場:独デュッセルドルフ・マリティンホテル

恒例のINTAKO。今年は、映画「La La Land」のヒットを受けて、オープニングからこの映画のテーマ曲が流れ、ADTV代表のコーネリアス・ツェンツァー氏も主人公の女性になぞらえ、

黄色のワンピーススーツで登場。助川先生の16年連続講師はINTAKO史上初ということもあり、記念品の授与とともにツェンツァー氏と市長、助川先生の3ショットの記念撮影など華々しい幕開けとなりました。

助川先生の講習は12日水曜日、例年ファミリーナイトの翌朝です。今年の呼び物は「ハンギングベル」「回転しながらの3アレマーナ」「TOMOスペシャル」「Side Valentino」など。各国の参加者から「最も使えるレクチャー」と評判なことから、参加者も例年になく多く、助川先生も参加者のリアルな反応にいつもながら「手応えを感じた」との感想でした。ファンも多く、記念撮影の求めに応じる場面もしばしばありました。

● 2017 INTAKO FIGURE OF TOMO ●

[Waltz]

Natural Turn Open Impetus Continuous Weave Chasse Roll Eros Line Double Reverse Spin Curving 3 Steps Whisk Chasse from PP Natural Turn “TOMO SPECIAL” Natural Spin Turn Outside Check Left side Check Chasse Natural Turn

[Tango]

2 walks Progressive Link to Roll-in “TOMO VALENTINO” Round Walk Double Reverse Turn in Shadow Position Fallaway to High Overway Whisk to Promenade Promenade Close

[ChaChaCha]

Tornado Under Arm Double Turn to “TOMO’S KOMADOW”(= small window)
Cucarachas Rope Spinning Scarf Sliding Doors Sliding Doors Behind Ladies’
Sweetheart Back to Back Travelling “HANGING BELL” 3 Alemana

2017-4-23 13:00～ 一般講習会

独・INTAKO2017から帰国直後ということもあり、最新のフィガーを各種紹介。

- 1 Jive (from INTAKO)
- 2 Bota Fogos (from INTAKO)
- 3 Waltz Open Impetus → Bota Fogos Hover(from INTAKO by Sukegawa)
- 4 Tango (from INTAKO by Sukegawa)
- 5 Rumba (from INTAKO)
- 6 ChaChaCha (from INTAKO)

2017-4-29 13:00～国際ダンスデー(東京・五反田会場ほか)

AJとして今年5回目の主催となる国際ダンスデー。1982年、ユネスコ・インターナショナル・ダンス・カウンシル(CID)が定めたダンスの日になみ、毎年4月29日は加盟150カ国以上で様々なダンスイベントが開催されます。AJは、ダンス初心者を対象に全国の会場で講習会やパーティを実施。

■■ 5月 ■■

2017-5-7 13:00～ GM 勉強会

1 Disco Fox

「普段踊る機会がない」との会員の声を受け実施。トルネード、ショルダー・タッチなど。

2 ワルツの復習

Ladies' solo turn (Natural and Reverse)

回転量の多い Reverse turn と回転量の少ない Reverse turn から女性をソロターンさせる。

男女とも同時に Natural 回転をする。

3 West Coast Swing

昨今、ヨーロッパのダンスシーンで流行の West Coast Swing を宮木先生が講習。ベーシックステップとクロスボディリードを中心とした講習。

4 Argentine Tango

サカーダ、サリダ、オーチョ、ヒロ。

2017-5-21 10:00～ 一般講習会

1 Boogie

「Stop & Go の功罪」※SSQQ のベーシックリズムが、一般的には Stop & Go になると SQQ に変化するが、この部分を境にリズムが狂ってしまう人が少なくない。SQQ で取らなくても SSQQ に対応できるので特に初心者には一定のリズムで踊る心遣いが必要。

2 Jive

3 Tango

PP になるにはどうするか？ 無理なく自然にリードするには？

Valentino を連続して取り込む。中央斜めに向けスタート。

4 Viennese Waltz

歩くステップ「歩いて、歩いてラッタッタ」。

5 Foxtrot

6 Waltz と Tango

Outside Change から Curved Feather PP から Curved Feather

7 Rumba (Ring Dance)

2017-5-27 10:00～ AJ&JDSF 合同勉強会 講師:助川友朗先生

1 Foxtrot (Ladies' solo turn, 2人でturn)

2 Boogie (Windmill/Butterfly, He goes She goes, Tornado, Back to Back/背合わせ)

3 Viennese Waltz

4 Waltz (various Ladies' solo turn)

- 5 Tango (Valentino × 2)
- 6 Rumba (Love Hands)

■■■ 6月 ■■■

2017-6-4 11:00～13:00 公開セミナー 13:00～17:00 お洒落な大人のパーティ

セミナー講師に、グランクレール馬事公苑総支配人の吉田淳氏を迎え「高齢者施設におけるダンスレッスン」をテーマに講演。パーティは本間一明 & エスメラルダの生演奏、デモンストレーションは5組が出演。

2017-6-18 13:00～ 一般講習会

- 1 West Coast Swing 宮木先生によるチャートが完成、基本7項目を明示
- 2 ChaChaCha (Tokyo Break)
- 3 Rumba (Aida, various Spot turn, Expander, Hanging bell)
- 4 Waltz (Natural turn から Ladies' solo turn, Reverse turn から Ladies' reverse solo turn)

2017-6-27 13:00～ 仙台義務講習会 会場: 仙台市民会館 講師: 助川友朗先生

シニアダンス連合会によるシークエンスダンスの披露。クラシカルシークエンス「カウンターウギャザー」を皮切りに、「ライラックワルツ」「バルボアブルース」「バーンダンス」「ストリクトリファンダンス」「ボックス・ルンバ」「ブルース・パート1&2」「ワルツ16小節」。

(冒頭、助川先生のお話)

6月4日、AJ本部でセミナーを開催しました。高齢者住宅・グランクレールの吉田総支配人によるお話で非常に有意義でした。

首都圏の核家族化は顕著で、老々介護も珍しくなく、高齢者向けの共同住宅への転居も少なくありません。全国に高齢者向け施設は約4万5千軒あるといわれ、うち公営が4割、民営が6割です。民間経営の中には特養もありますが、半分以上は介護度が低いです。介護度の低い約半数、1万5千軒のうち100人がダンスをする対象としたら150万人に潜在需要があると考えられます。デイサービスを利用したい人が450～500万人いるといいますが、ダンスはほとんどしておらず、やってもボランティアによるところ多いです。しかし、ボランティアが考えるメニューはひとつで、断られるのが大半。施設側から「高齢者にはダンスは向かない」と思われています。いまや4人にひとりが高齢者。65～75歳が前期高齢者、75歳以上が後期高齢者といわれますが、年齢で分けられない方がいい。例えば、若年高齢者、中期高齢者としていつまでも「中期」の期間を長くするようにする。都内の「グランクレール等々力」という高級高齢者住宅にもレッスンに行っていますが、92歳になる男性もダンスに参加し、実に粋なダンスを踊ります。

これまでは高齢者には「安全」「安心」「快適」が最善と思われてきましたが、「冒険」「喜び」

「楽しみ」を優先する人生を提案したいです。

講習は① Boogie (女性同士の Boogie も) ② Rumba ③ Tango ※男女とも左回転、Change of Hands behind back がテーマ。

■■ 7月 ■■

2017-7-2 13:00～ GM 勉強会

West Coast Swing (6月18日の続きで Inside Roll, The Whip) と Argentine Tango

2017-7-30 10:00～ 一般講習会

フォーメーションを踊る。[RUMBA FORMATION 2017]

■■ 8月 ■■

2017-8-19 13:00～ 大阪義務講習および JDSF との合同勉強会

会場: ゴールデンパレス大阪 講師: 助川友朗先生

(冒頭のお話) JDSF はずいぶん前から会員が高齢化していることから、若者をターゲットに会員を増やそうとしているがうまくいっていない。私は、それとは逆に年配者を対象に取り組む活動を提案している。私の場合は4か所、ひと月に8日、老人ホームにレッスンに行っている。一カ所は五体満足な人が入る超高級施設で、居住者130人中15人の女性が生徒として参加している。平均年齢85歳、週1回2時間。手伝いのスタッフを含め、3人でやったとしても正味一人の人と踊るのは20分程度。しかし5年もすると、タンゴもワルツもブルースもチャチャチャも踊れるようになる。他の2社(施設)にいたっては食堂でやっている。足が動かない人が多いから大変で、座ったまま手でワルツのリズムを取ったり、腕を左右に動かしたり工夫している。

以前、鹿児島の高齢者施設で2回レッスンをし、県内30施設から介護スタッフが参加した。アンケートの結果、約80%がこのダンスならやりたいとのことだった。高齢者にとっては認知症の改善、運動不足の解消、音楽がかかると踊れる、と有意義な要素に満ちている。

私が行く施設に住む92歳になる男性だが、「ダンスは遊びが8割」と言い切って、今でも実に粋にダンスを踊る。若い人にダンスを薦めてもやらない。それよりも老人ホームに行き、ぜひ老人ホーム向けのダンスに取り組んで欲しい。しかしそこでは考え方を考える必要がある。きょうできたことが明日はできない、という前提でレッスンをしなければいけない。日々積み重ねてレッスンをする必要はなく、「一話完結」で終わるのが肝要だ。

〈実践1: 教え方について / 初心者 or 経験者〉

初心者に対しては、きょうは楽しかったまた来週も来たいと思わせる。それには一番簡単なことからやる。一歩ずつ動く「ワンリズム・ワンステップ」の種目を選択。例: ディスコフォックス、

サンバ、ウィナーワルツ、メレンゲ。横への動き。男性向けのレッスン内容の提示。スローとクイックの提示は、皆で円になり、例えばメレンゲの曲で右に SS、左に QQQQ。SS と QQQQ は同じ距離と時間であることを体感。さらに「横のブルース」で SSQQ を体感。

〈実践 2: おもしろいステップやフィガーの紹介〉

ルンバ、タンゴ、ワルツ、いろいろなソロターンと男女共に回転するダブルターン

2017-8-26 13:00～ AJ&JDSF 合同勉強会 講師: 助川友朗先生

(冒頭のお話) ダンスを教えるにあたって 2 種の対象を認識する必要がある。初心者と経験者だ。教え方は変える必要がある。本当の初心者には、何を伝えるのか、何をやってあげれば楽しく自信をもって帰り、また来たいと思ってもらえるか。先ずは一步ずつ体重が乗ることを教える。教える過程で、生徒の 80% が間違ったりできなかつたりしたら、教え方が違うということだ。間違えないようにしてあげるのだ。例えば「一步ずつ」を教えるのにボックスは教えない。横への動きは容易だが、縦の動きは難しい。縦の動きと横の動きが組み合わさると、難しいのは明確だ。絶対間違わない種目は、例えばディスコブルース、さらにサンバ、ウィナーワルツ、ブルース。ワンリズム・ワンステップの動きをさせる。

〈実技〉メレンゲ、ブギ、ルンバ、タンゴ

2017-8-27 13:00～ 義務講習会(東京会場)

A 班、B 班に分かれ、理事各氏による種目別講習(16 種目)

2017-8-29 13:00～ 仙台義務講習会 会場: 仙台市民会館

始めに仙台シニアダンス連合会によるシークエスダンスの披露。バーンダンス、スウィングブルース、マンボ、スクエアルンバなど。続いて助川先生によるルンバのリングダンス(8 小節)の紹介。

(冒頭、助川先生のお話) 8 月 19 日、大阪の合同勉強会があり、JDSF 関西ブロックから 40 人が AJ から 10 人が参加した。JDSF は奈良、滋賀、広島からも担当委員が来て教え方を学んでいった。JDSF では企画運営部に新たに社交ダンス普及部ができ、社交ダンスの指導員の育成に乗り出し、東京より盛り上がっている。参加者の食いつきが良く、やってもやりがいを感じる。翌日、米子に移動し仕事をした後、午後からは松江で 70 人くらい JDSF およびそれ以外の他県からの参加もあり講習会をしてきた。「今度は私の先生も連れてくる」との一般参加者の声もいただいた。いまやシニアダンス連合会の皆さんがやっているダンスが主流になってきているということで、仙台の JDSF にもぜひ時代の流れを見て欲しいと思う。社交ダンスは競技ダンス、デモンストレーションダンス、スポーツダンスとは違い、相手を思い二人が音楽に合わせて踊るダンスだということを再認識してもらいたい。

〈実技〉8 歩のタンゴ(ベーシックステップ、ロックステップ、リバーターン。この 3 つのみで踊ってみる。ルンバ(男女とも左回転を取り入れた動きなど)。

■■ 9月 ■■

2017-9-10 10:00～ 一般講習会

ルンバを中心にラテンベーシック

2017-9-24 13:00～ GM 勉強会

前半はメダルテストのディスコフォックスのフィガールの確認(笹岡先生ほか)。後半は試験前対策として様々な種目を踊る。

■■ 10月 ■■

2017-10-1 12:00～ メダルテスト&ワールドスタイルダンスパーティー

パーティーには、本間一明&エスメラルダが出演

2017-10-15 13:00～ GM 勉強会兼一般講習会

サンバのリングダンス、バチャータ、ブギの順でスタート。続くルンバでは、音を外さないための訓練メニューを実践。音楽の「1」を理解し、「1」で始動する、音楽をよく聞く——を念頭にタイムステップ。チャチャチャも同様に実施。縦のスポットターン、クロスボディリードの理解。ウエスト・コーストスウィングは復習としてシュガー・プッシュと左右のアタック。

2017-10-30 13:00～ 仙台シニアダンス連合会との合同勉強会

会場: 仙台市民会館地下展示場 講師: 助川友朗先生

(谷先生のお話) 次回、2018年3月27日(火曜日)がこの会場を使う最後の日です。私の90歳の祝いの会になります。今後は規模を縮小して、幸町コミュニティーセンターで日曜日に開催します。体力の衰えもあり、年齢的にもこれまでのようにやるのは本当に大変で、今後、この連合会をどうするか皆で決めてほしい。ダンス界の現状はよくない。廃業する教室もある。教室によっては、ジルバやブルースが教えられない指導者がいる。競技スタイルしか知らないのだ。私は、65～80歳まで毎年渡欧した。実際に現地を見てくると、身をもって日本のダンスのダメさ加減を体験することになる。日本は社交ダンスを中心に、皆で楽しめるダンスをするべきで、本来優劣を争うものではない。

(助川先生のお話) 昨夜、小野さんのお通夜に行ってきました。台風で、もの凄い雨でした。今でも小野さんから紹介された生徒が私のレッスンに来ています。小野さんは、皆さんと同じように連合会のパーティを運営したり、鎌倉老健などでも活動されていましたが、長らくダンス界を憂いでいました。次の世代が引き継いで、しっかりやってもらいたいと願っているでしょう。小野さんが活動していた地域は、地元色が強い団体が多いという点では、仙台と似ているかもしれません。谷先生のご心配されているよう、仙台での活動をどうするか。少なくとも10年

先が目途をつけたいと思っていて、小型化しても年4~5回は来るつもりでいます。交通費はかかりますが、AJグループの何人かが仙台に来るようにすればと思っていて、同じ曜日にサークルがあればいくつかを並行して回ることができるでしょう。主役は皆さんです。サポートはできますので。

さて、今年どれくらいの人数の初心者個人レッスンをしたか。今年は多く、30~40人はいました。毎年平均、20人とは出会います。ダンスにまったく興味のない人に、だまされたと思ってやれ、と言って来る人もいればまったく継続しない人もいます。しかし、継続する確率は高いです。他の人たちは、初めてダンスをする人とどれくらい出会っているのかと思います。結構あるのではないのでしょうか。ところが消えてなくなっている。ダンス人口は約30万人。それ以外の1億1,970万人はやっていない人です。私は、呼びかけを常に励行している。例えばレストランに行っても。ちょっと素敵な音楽がかかっている。少しのスペースがあれば踊るなど、少しでも関心を向けられたら、踊ってみますか、と誘ったりして。それを皆がしないと広まりません。ダンスというイメージが先行して、この歳だからとか、この体型だからと言う人が少なくない。ドレス、燕尾服、ウナン、キンタロウなど一般の人にとっては「明後日の世界」に。そういうのではないことを発信しないとダメです。ダンスをやっていない人が圧倒的に多いということ意識して。

先週まで1週間、ミュンヘンとヴォルムス(ドイツ)のアカデミーなど視察してきました。ドイツの人口は8千万人。ダンス教室はADTV加盟がおおよそ830超、BDT加盟が300でおおよそ1,200教室。その他300教室は団体に所属していない。教師協会がアカデミーを運営していて週2回、1回3時間、教師の見習いがそこで4年間勉強します。

AJは数年前、教師資格の試験方法をより現実的に即した内容へと変えました。音楽をかけずに口でカウントを言う、試験種目のフィガーを丸覚えなど、それがクリアされれば資格が取れるというのでは問題があります。他者と踊ることを教える指導者であるからには、どんな相手とでも踊れる指導者を養成する必要があります。

〈同日の講習種目〉バチャータ、ブギ(世界一周・左右のロールイン・背合わせから回転)、タンゴ(壁斜めにリバースターンからフリック)、ワルツ(ボタフォゴ)

■■ 11月 ■■

2017-11-5 14:00~ 仮装パーティ&演技発表会

本間一明&エスメラルダが出演。乙姫や浦島太郎、ドジョウすくい、海賊など趣向を凝らした仮装がパーティを盛り上げました。

2017-11-25 13:00~ AJ&JDSF 合同勉強会 講師:助川友朗先生

現状のダンス界は、システムとしてもビジネスモデルも破綻している。これからのダンス界を考えた時、再度社交ダンスを見直す必要がある。2人で踊るカップルダンスが社交ダンスだ

が、「相手と組んで踊る」のは、社交ダンス、競技ダンス、デモンストレーションダンス、スポーツダンスの4種がある。それぞれの違いは何か。競技ダンスには審査員がおり、審査員に対していかにいい踊りをするか、アピールして点数をもらう。審査員の基準がわからないと何をアピールすればいいかわからないので、その物差しを知るために習いに行く。スポーツダンスは、相手が腰が痛いと言っても自分のやりたいことを優先する。そこにはびこる「教え魔」は、教えているつもりはなく、自分がやりたいことに対して相手に協力してもらいたいから。デモンストレーションダンスは、デモをする人が呼んだお客さんのため。デモした人が褒められるようにピクチャーポーズなど、角度を変更してそのお客さんに対してすることも。そして、社交ダンスは相手と踊るダンス。

例えば散歩を例にしよう。さっそうと素敵に歩こうと思っている人に、競歩を教えたら変になる。これが今のダンス界の現況。普通の人が普通に踊ることを教えなければならない。ダンス衣装もしかり。着替えに公民館のトイレを独占したり、周囲が普通の恰好をしているのに自分だけダンス衣装を着て、そこで浮いていることに気づかないなど。少なくともヨーロッパは、正装のパーティは別としても、普段のレッスンは皆普通の服装で参加している。

〈実践種目〉 Viennese Waltz Samba Bachata Merengue Blues Boogie Rumba Tango

2017-11-26 10:00～ 一般講習会

ラテン種目を中心に音の取り方、ムーヴメントの訓練

Fan Position Hip Twist Alemana Rumba Formation2017 ChaChaCha Boogie

■■ 12月 ■■

2017-12-2 13:00～ 大阪地区 AJ&JDSF 合同勉強会

会場:ゴールデンパレス大阪 講師:助川友朗先生

身体文化におけるダンスの位置づけを確認。習う側も教える側も、日本人が混同している4つのダンス(競技ダンス・スポーツダンス・デモンストレーションダンス・社交ダンス)の違いについて説明。

「散歩」と「競歩」。きれいと奇妙。日本は50年に渡り、散歩(=社交ダンス)ではなく競歩(=競技ダンス)を教えてきた。客のニーズを的確につかみ、応えてきたのか? 現在のダンス人口の平均年齢は70歳だが、なぜか。女性用のレッスンが中心で、「商品開発」がまったくなかった。しかし、滅亡の道を断ち切るには社交ダンスを習いたい人には社交ダンスを、競技ダンスを習いたい人には競技ダンスを教えることとし、もう一度社交ダンスを考える必要がある。ダンスを文化にするためには社交ダンスを広める必要がる。競技は文化にはならない。

例えばスケート場。世界的にも日本のスケート選手の活躍は目覚ましく、将来を有望する子供に付き添ったステージママやパパが詰めかけ、一見熱心で日本はスケート大国かと思いきや、スケート場は次々閉鎖され、一般には流行らない。昔の方が単に滑るのを楽しむだけ

のスケート場があった。ダンスを文化として根付かせるには、いつでも、どこでも踊れる世界でなければならない。結婚式でも、定年退職のお祝いでも、おしゃれなレストランで素敵な音楽を聴きながらでも。それには社交ダンスでなければだめだということ。

〈第一部：初心者に対する教え方〉 Viennese Waltz Samba Disco Bachata Merengue
Disco Fox Blues Boogie

〈第二部：レッスンに役立つ最新フィガー〉 Rumba Ring Dance Bota Fogos をテーマに
Rumba, ChaChaCha, Waltz, Tango で実践

2017-12-3 11:00～ 公開セミナー 14:00～ ワールドスタイルダンスパーティー

セミナー講師：公益社団法人日本ダンススポーツ連盟理事・普及本部長 中道俊之氏

「JDSF から見た今後のダンス界！ JDSF は AJ に何を期待するのか？」

※本紙別項の中道氏による特別寄稿を参照ください。

パーティーは、本間一明 & エスメラルダの生演奏、スポンサーデモの他、11 組が演技発表。

2017-12-10 13:00～ AJ&JDSF 合同勉強会 講師：助川友朗先生

〈第一部：初心者に対する教え方〉 Viennese Waltz で He goes She goes Side by Side 背合わせ。Bl ezel Merry-go-round を Boogie、Rumba、Tango、Waltz でやってみる。

4 人で踊る Viennese Waltz、Boogie、ChaChaCha。皆で円になって踊る Boogie。

〈第二部：レッスンに役立つフィガー〉 Merengue で「ハガイジメ」。Paso Doble Bachata Samba。 ChaChaCha、Rumba、Waltz、Tango の Bota Fogos。

2017-12-17 13:00～ AJ&JDSF 合同勉強会 講師：助川友朗先生

〈第一部：老人ホームでの教え方〉

高齢者施設の入居者の多くは、(後ろに)下がれず、スローとクイックを取れない。従って、すべて横に動くことを基本とし、すべてスローで動くようにする。初心者と同じで、最初はワルイズム・ワンステップの種目を中心とする。少しできるようになったら次のようなタンゴもできるようになる。

例：老人ホームでのタンゴ＝円になり全員で手をつなぐ。SSQQS と横に動きながら最後の S では足を前方に出しタップの形にする。すると問題なくタップした足から次の一步を踏むことができる。

〈第二部：初心者への教え方〉 Samba, Bachata, Disco Fox, Foxtrot

〈第三部：レッスンで使えるフィガー〉「秋の散歩道」「春の散歩道」「冬の散歩道」。巻き付きステップ。ラブ・ハンズ。クロスハンドから女性を 2 回転させ「小窓」へ、さらにメリーゴーランドへ。前回のワルツの復習。

※開催会場について、特記のないものは AJ 本部(助川ダンス教室)。